

土砂の埋立・盛土による農地の一時転用は、営農者である土地所有者本人が、自作地を改良し生産性を向上するためのもので、転用計画及び一時転用後の作付け計画を審査します。また、許可時は作付後に現地確認をします。申請には、農地法第4条許可申請の通常添付書類に加え、次の書類が必要です。

1 事業計画書	様式第1号（隣接地等への説明状況等をその他の欄に明記）
2 工程表	着工から農地復元までの期間について記載
3 作付け計画書	様式第2号
4 土砂等の発生、埋立等フローシート	様式第3号
5 発生土証明書	様式第4号 ※建設発生土による埋立等を行う場合
6 県または市残土条例許可申請書の写し	本申請の受付印のあるもの
7 断面図	・施工前及び施工後のわかるもの ・隣接地（四方）との高低差を明記 ・埋立土や作土（覆土）の高さを明記
8 平面図	断面図との関係を明記
9 契約書写し	工事の目的、施工計画、農地の復元が明記されたもの
10 事業進捗（完了）報告書	・許可日から3ヶ月ごとに進捗報告、完了時に完了報告が必要です。 ・完了報告の場合には、写真が必要です。
11 農機具保管場所位置図	現地調査を行いますので、農機具保管場所を明示してください。
12 農業所得のわかるもの	所得証明書
13 その他必要と認める書類	案件により必要となる場合があります（事前相談（受付）時もしくは受付後に指示）

注意事項

転用期間	必要最低限の期間（農地復元に必要な期間を含む）
面積	転用期間内に農地への復元が可能な大きさ
高さなど	<ul style="list-style-type: none"> ・農地は残土捨場でないことに留意すること。 ・隣接地（用・排水路含む）の農業上の利用に支障をきたすおそれがないこと。 ・平坦地の畑の場合は隣地との高低差が50cm以下。平坦地の田の場合は隣地との高低差が30cm以下。平坦地でない場合は改良後の栽培作物に必要な盛土高とすること。 ・埋立土を用いた場合は、畑の場合は50cm以上（田の場合は30cm以上）を作土（覆土）とする。 ・平坦地の場合は、作土（覆土）で盛土すること。 ・湿田または湿畑でなければ、作土（覆土）用のはぎ取りは1mまで可。
埋立土の土質	覆土以外の埋立土の土質は、第1種・第2種・第3種建設発生土と同等以上であること。なお、建設発生土の場合は市内または隣接市町村のものに限る。また、改良土、ストックヤードの土は不可。
作土（覆土）の土質	<ul style="list-style-type: none"> ・従前の作土と同等以上の栽培作物に適した肥沃な土を用いること。なお、土地改良事業等で農地から発生した建設発生土の場合は市内または隣接市町村のものに限る。 ・礫（2mm以上の小石）が混入していないこと。 ・従前の土地が湿田または湿畑の場合は天地返し不可。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域、調整区域とも同じ扱いです。 ・土砂の不足などにより発生元が変更・追加となったなど、当初事業内容から変更となる場合は、別途手続きが必要となります。

提供様式

1. 事業計画書
 2. 作付け計画書
 3. 発生土証明書
 4. 事業進捗（完了）状況報告書
 5. 盛土・造成工事工程表
 6. 土砂等の発生・埋立等フローシート
- 以上、6枚。

事業計画書

事業者		(住所)		(氏名)		
				電話 ()		
請負者		(住所)		(氏名)		
				電話 ()		
現場責任者		(住所)		(氏名)		
				電話 ()		
事業期間		令和 年 月 日～令和 年 月 日までの ヶ月間 (詳細は別添工程表のとおり)				
土地選定理由書		(注) 申請地を選定した理由を詳細に記載すること				
事業の内容	土砂等の発生場所	場所	(注) 建設残土でない場合にあつては、土砂等の発生地の所有者名及び住所も記載すること			
		工事名	(注) 建設残土による場合のみ記載すること			
		工事発注者	(住所)		(氏名)	
					電話 ()	
	工事請負者	(住所)		(氏名)		
				電話 ()		
	埋立等の内容	埋立等面積	m ²	埋立等土質	(残土の区分)	
		埋立等土量及び運搬車両台数				
		作業時間	午前 時 分から午後 時 分まで			
		使用機械の種類・台数				
	農地の復元方法	作土の土質	従前			
			復元後			
復元用土の発生場所						
工法						
計画図	平面図及び縦横断面図 (別添のとおり) (注) 現況地盤 (周辺地を含む)、計画地盤高、掘削の深さ、覆土厚さ等を明示すること					
その他		(注) 過去2年間に埋立等を行ったことがある場合は、その場所・期間等を記載すること				

作付け計画書

令和 年 月 日

1. 耕作者

住所

氏名

2. 現在の作付け状況

地目	面積 m ²	収量 (10a 当り)kg	粗利益 (10a 当り)千円	作付け開始期間	収穫時期
()				年 月 上・中・下旬	年 月 上・中・下旬

3. 埋立後の作付け計画

地目	面積 m ²	収量 (10a 当り)kg	粗利益 (10a 当り)千円	作付け開始期間	収穫時期
()				年 月 上・中・下旬	年 月 上・中・下旬

注：地目の () 内は、作物の種類を記入すること。

様式第4号

発生土証明書

令和 年 月 日

土浦市農業委員会 殿

工事元請業者
住所

氏名
(TEL)

下記工事から発生する土砂は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第2条第1項に規定する廃棄物ではありません。

記

1 工事場所

2 工事名

3 工事期間 年 月 日 ～ 年 月 日

4 発生土量 m³

5 土砂の区分

6 工事発注者

7 土砂の運搬契約者

8 土砂の最終処分事業者

備考 土砂の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（令和3年建設省令第19号）別表第1の区分を記載すること。

事業進捗（完了）状況報告書

令和 年 月 日

土浦市農業委員会 殿

事業者

住所

氏名

令和 年 月 日付け 指令第 号による許可に係る事業の進捗（完了）状況を
下記のとおり報告いたします。

記

1 許可を受けた土地

土浦市 字 番地
外 筆 m²

2 許可を受けた期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日までの ヶ月間

3 進捗（完了）状況

事業実施中の場合		完了した場合	
着工年月日	令和 年 月 日	着工年月日	令和 年 月 日
現在進捗率	%	完了年月日	令和 年 月 日
完了予定年月日	令和 年 月 日		

4 現況写真 別添のとおり

(例)

盛土・造成工事工程表

工程	3月	4月	5月	6月	7月	8月
鉄板敷き	●——●		- - - - -		●——●	
盛土・造成	●——		————●			
		南側より				
		m ³ /日を予定				

工程	月	月	月	月	月	月

土砂等の発生・埋立等のフローシート

